



ジブチ共和国 (Republic of Djibouti)



- 2009年から、日本はソマリア沖・アデン湾の海賊対処活動を実施。アデン湾を航行する船舶の護衛やジブチを拠点に警戒監視活動を行っている。(2016年9月31日現在、海賊対処法に基づく護衛艦による護衛実績は711回で、3,731隻)
- 日本はジブチの海上保安能力強化のために貢献。

国概要

(基礎データ)

- ・ 面積: 23,200平方キロメートル(四国の約1.3倍)
- ・ 人口: 89万人(2015年, 世銀)
- ・ 首都: ジブチ(人口約57万人)
- ・ 民族: アファール族, イッサ族
- ・ 言語: アラビア語, 仏語
- ・ 宗教: イスラム教(94%)
- ・ 政体: 共和制
- ・ 議会: 一院制国民議会(65議席)
- ・ GDP: 15.89億ドル(2014年, 世銀)
- ・ GNI: 一人あたり1,030ドル(2005年, 世銀)
- ・ 経済成長率: 6.0%(2014年, 世銀)
- ・ 失業率: 55.7%(2014年, ILO)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

1862年	仏、ジブチ市北方のオボック地方をアファール族より譲り受ける
1885年	仏、イッサ族よりジブチ市近辺を譲り受ける
1896年	仏領ソマリランドに名誉総督を派遣
1946年	仏海外領土となる
1967年	仏領アファール・イッサと改名
1977年	仏より独立(グーレ大統領就任)
1991年	内戦勃発
1994年	和平合意
1997年	国民議会選挙実施
1999年	ゲレ大統領就任
2016年	ゲレ大統領4選

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
無償資金協力	295.75 億円 (2014年度末時点)
技術協力	49.68 億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ129人 (2016年7月時点で10人)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からジブチへの輸出	62.14億円(2015年, 財務省貿易統計)
ジブチから日本への輸出	0.88億円(2015年, 財務省貿易統計)
在ジブチ日系企業数	2社(2015年10月時点, 外務省統計)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ジブチにおける在留邦人数	40人(2015年10月時点, 外務省)
在日ジブチ人数	5人(2015年12月, 法務省)
ジブチから日本への留学生数	1名(2015年, JNTO)
ジブチからのJICA研修生延べ人数	327人(2015年, JICA)

ソマリア沖・アデン湾における 海賊事案の発生件数 (国際海事局年次報告に基づき作成)



	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
乗っ取られた船舶数	42隻	47隻	49隻	28隻	14隻	2隻	0隻	0隻
拘束された乗員数	815名	867名	1016名	470名	250名	34名	0名	0名

自衛隊の護衛実績

(2016年9月31日現在)
護衛回数 711回
護衛船舶数 3,731隻

日本とジブチ共和国との協力年表

年代	案件
1977年	日本はジブチを承認
1989年	駐日ジブチ大使館開設
1995年	FUKUZAWA中学校設立
1998年	グーレ大統領の第二回アフリカ開発会議(TICAD)出席
1999年	青年海外協力隊派遣取極を締結
2000年	青年海外協力隊の派遣開始
2001年	ジブチ市都市給水計画のための書簡の交換
2003年	基礎教育強化計画のための書簡の交換
2003年	ゲレ大統領のTICADIII出席
2005年	技術協力協定取極締結
2008年	タジュラ湾海上輸送力増強計画のための書簡交換
2008年	ゲレ大統領のTICADIV出席
2009年3月	ソマリア・アデン湾の海賊対処のために護衛艦2隻を派遣 在ジブチ連絡事務所の設立
2009年12月	太陽光を利用したクリーンエネルギー導入計画のための書簡交換
2010年2月 3月	初等・中等教員養成校建設計画のための書簡を交換 気候変動による支援災害対応能力向上計画のための書簡を交換
2010年4月	兼勤駐在官事務所を設置
2011年3月	南部地方給水計画のための書簡の交換
2011年7月	自衛隊新拠点開所式出席のため小川防衛副大臣が往訪
2012年1月	在ジブチ日本大使館開設
2012年12月	廃棄物処理機材整備計画に関する書簡の交換
2013年3月	ジブチ市消防救急機材改善計画
2013年6月	ゲレ大統領のTICADV出席
2013年8月	安倍総理によるジブチ訪問、日本の総理として初めての訪問、海上交通路の要衝に位置するジブチが貿易立国である日本にとって戦略的に極めて重要なパートナーであることを確認
2014年3月	海上保安能力向上のための巡視艇建造計画のための書簡の交換
2016年3月	道路管理機材整備計画のための書簡の交換
2016年8月	日ジブチ首脳会談(TICADVI)

ジブチの
JICA同窓会
会長と青年
海外協力隊
員



井戸の水を使う
周辺住民。新規
井戸6本の建設
と既存井戸7本
の改修が実現。



日本の支援で建て
た校舎で、青年海
外協力隊隊員が理
数科を教える。

フェリーボートを歓迎するジブチの人々。南北交通の活性化は民族融和のためにも重要。



派遣海賊対処行動に従事する第25次水上部隊等。海賊被害を減らすことに各国とともに大きく貢献。



初期操作に
ついて指導実
施。消防救急
能力の強化
を目指す。



フクザワ中学校
へ104冊の安倍
文庫を寄贈。



安倍総理とゲレ大統領。
日本はジブチの海上保
安能力向上に貢献。